

目標達成計画

作成日: 平成 30年 5月 4日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	(1)	「理念」の実践を更に深めるためにも、毎年理念の実践や職員の目標を職員全体で見直し評価をする機会をつくる。このような取り組みの実践は職員にとって運営の根幹である理念の理解を深めるいい機会となる得る。	各ユニットの状況が違うので「岐宿園の理念」に基づき、「職員の目標」そのままに各ユニットで話し合い見直し評価の機会を設ける。	各ユニットで話し合い、実践の目標を定め、実践状況を記録する。	
			ユニット:菜の花 利用者様全員が今より、充実した毎日が送れるよう支援する。	・外出を月、1・2回行う。 ・軽度利用者様にも充分声掛けし、希望を叶えていけるよう心掛ける。 (利用者様の重度化に伴ない、軽度の方への対応の機会が少ない現状がある。)	6ヶ月
			ユニット:コスモス 利用者様の意思を尊重し、介護技術の不十分な部分を職員間で話し合い、介護技術の向上に努める。	・利用者様の出来ることに着目し、職員間でコミュニケーションをとりながら一人ひとりにあった介護サービスを行う。	6ヶ月
2	(12)	利用契約時に重度化した場合などのホームの方針を口頭で説明しているが文書化されていない。重度化した場合のホームの対応しうる最大の支援について明文化し同意を得る。	重要事項説明書に重度化した場合のホームの対応しうる最大の支援について明記し、同意を得る。	重度化した場合のホームの対応しうる最大の支援についての書類作成。 (平成30年5月1日作成済み)	1ヶ月
4					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。